

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

## 第 7 9 号

【平成 27 年 8 月 5 日 (水) 発行】  
発行：J A グループ宮城災害復興本部  
編集：J A 宮城中央会  
〒980-0011 仙台市青葉区  
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F  
電話番号：022-264-8207  
FAX 番号：022-216-4466  
E-mail：jataisaku@gmail.com

### 《目次》

1. TPP 国会決議の遵守を求め、東京で J A 代表者要請集会
2. 復興への拠点に。J A 南三陸本店・志津川支店の落成祝賀会
3. 津波被災地に大規模法人「(株)やまもとファームみらい野」が誕生
4. 県産農畜産物を一堂に。仙台市の大型商業施設 Tapio で「いいものまるしえ」
5. 震災復興支援イベントで「みやぎの環境保全米」を P R
6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 47 次請求

### 1. TPP 国会決議の遵守を求め、東京で J A 代表者要請集会

J A 宮城中央会と県農協政治連盟は 7 月 27 日、T P P 交渉に関する宮城県代表者要請集会を、東京都内で開きました。地元選出与党国会議員に、国会決議の遵守を強く求めました。

自民党の伊藤信太郎、小野寺五典、土井亨、勝沼栄明の 4 議員と公明党の井上義久幹事長が本人出席。秋葉賢也、西村明宏、愛知治郎、熊



#### 国会決議遵守を念押しした J A 代表者要請集会

谷大の 4 議員は秘書が代理出席しました。J A グループは、同日行われた全国代表者集会に参加した常勤役員や青年部・女性部代表ら約 50 人が出席しました。

石川壽一中央会会長は「米の輸入枠拡大など断じて容認できない。生産現場では、国会決議は一体どこにいったのか、という不安・不信の声があふれている」と訴えました。県農協青年連盟の相澤宏樹委員長は「食と農、地域を守ろうと頑張っている我々の思いを、交渉の現場にぜひ伝えてほしい」と出席議員に要請しました。

閣僚会合に合わせて同日、米国ハワイに向かう小野寺議員は「甘利大臣は『無傷ではすまない』と言った。どこが傷を負うのか？ それは農村部だ。無理をして交渉をまとめる必要はない、と甘利大臣には、繰り返し言っている。無傷ですまないのが我々の地元だとすれば、しっかり声をあげていかなければならない」と、語りました。

## 2. 復興への拠点に。JA南三陸本店・志津川支店の落成祝賀会

JA南三陸は7月21日、東日本大震災で流失した本店と志津川支店の落成祝賀会を南三陸町内で開きました。県や気仙沼市、南三陸町など、行政関係者や県内JAの組合長など約120人が出席しました。

JA南三陸の高橋正組合長は「震災後、本店は本吉支店の畳敷きの部屋に長机を並べて営業を再開した。あの時点では、きょうの日を迎えられるとは予想だにできなかった」と、国や県、市、町、JAグループなど全国からの支援に深く感謝しました。そして、「営農再開はこれからが正念場。ふるさと再建は我々の使命だ」と決意を新たにしました。

南三陸町の佐藤仁町長は「再建した本店、支店が地域の人々の心のよりどころになるよう、心から期待します」と祝辞を述べました。また、JA宮城中央会の石川壽一会長は「再建は大きな希望と勇気を与えてくれる。JAグループは、今後とも支援していきたい」と語りました。



落成を祝い鏡開きをする関係者

## 3. 津波被災地に大規模法人「(株)やまもとファームみらい野」が誕生

東日本大震災で甚大な被害を受けた山元町に、農業生産法人「(株)やまもとファームみらい野」が誕生しました。津波被害から復旧した農地112.2畝で、サツマイモやタマネギ、パプリカなど露地、施設栽培の野菜などを手がけます。JAみやぎ亘理は法人化を支援し、6月下旬に開いた総代会で、同法人への出資を決定。JA出資型法人としてスタートしました。

7月27日に開いた発足式で、島田孝雄社長は「地域農業の復興の一端を担い、町の新しい農業を作っていきたい」と語りました。同法人は、町内沿岸部に農地を持つ農家らでつくる任意組織、やまもと東部園芸組合が母体。津波被害を受けて町外に移転せざるを得なくなった農家らの、農地の受け手となり、地域農業の維持と活性化を目指します。

## 4. 県産農畜産物を一堂に。仙台市の大型商業施設Tapioで「いいものまるしえ」

JAグループ宮城「県産県消」推進協議会は7月24・25日、県内JAの新鮮な農畜産物を一堂に集めた「いいものまるしえ」を、仙台市泉区の大型商業施設Tapio(タピオ)で開きました。

トマト、インゲン、キュウリなどの新鮮な野菜や、リンゴジュース、野菜かまぼこ、米焼酎など、6次化商品もずらりと並べ、試食を交えて販売しました。宮城米のおにぎりや「宮城野豚」を無料で振る舞った他、野菜の引っ張りゲーム、餅つき体験、全農みやぎのキャラクター「旬太くん」とのじゃんけん大会なども行い、来場者を楽しませました。



県内JAの農畜産物がずらりと並びました



## 5. 震災復興支援イベントで「みやぎの環境保全米」をPR

JA宮城中央会は7月25・26日、仙台市の市民広場などで開かれた震災復興支援イベントTBC夏まつりに出展し、「みやぎの環境保全米」をPRしました。

「みやぎの環境保全米は農薬や化学肥料を減らしたお米である」「『みんなのよい食プロジェクト』はJAぐるーぷが進めている食と農を大切にする運動である」などが正解かどうか、などのクイズに答えてもらい、回答した人に抽選で、環境保全米や切り餅などをプレゼントしまし



クイズに答えて、ガラポンを回す参加者

た。種当てや田んぼの生き物当てクイズもあり、参加者は展示された環境保全米のパネルやちらしなどをじっくり見ながら答えていました。

## 6. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第47次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は7月31日、第47次請求として東電に4,164万円を請求しました。内訳は、牧草の利用自粛等にかかわる損害が2,379万円、牧草、草地の除染にかかわる損害が1,539万円など。

以 上